



2021年11月17日午後、東京都立新島高等学校の1年生、9名を対象にキャリア教育のためのオンライン講義を行いました。当地区のロータリークラブ・ロータリアンは高校生のキャリア教育のために就業体験を積極的に受け入れてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で前年度より受入れを中止しています。その代替として、東京都教育庁と調整しての実施となりました。



キャリア教育講義はロータリアン1名で行いました（東京板橋セントラルロータリークラブ）。テーマは「就労、働くことについて」でした。行政書士・司法書士のお仕事と、お客様とのコミュニケーションの取り方（挨拶や聞き出し方など）についてのお話を聴いていただき、自分のキャリアの参考にしていただきました。また、宅建業の免許申請書や添付書面に実際に触れていただき、体験の時間も取りました。

講義は、「稼ぐことと、やりたいこと」（ライスワークとライフワーク）、「行政書士・司法書士とは」、「コミュニケーション」（①こちらの伝えたいことを相手に伝えること、②相手が伝えてほしいことをこちらが伝えること。また、挨拶はコミュニケーションの基本中の基本であること）、「就労、働くことについて」、「ロータリークラブの活動」の順で行いました。そして、「良い失敗は人生の財産です。ワンチャンスありそう、ダメで元々と感じたら、ぜひあがいてください」とまとめました。

後日、高校からいただいた生徒たちの感想文によると、「稼ぐことと、やりたいこと」、「コミュニケーション」、「あがくこと」に関心が高くなっていました。

「稼ぐこととやりたいことについてのお話しが印象に残りました。僕は将来のことで悩んでいて今回のお話しにもあったように生きるために稼ぐ仕事か、自分のやりたいことに合った仕事をするかが悩んでいました。それどころかどの職業が自分の能力や強みに合っているか、どの業種に就いて働きたいのかがわかりません。ですが、今回の講義を聴いて自分の中の自分に素直に従ってみようと思うことができました」

「行政書士・司法書士という職業をあまり聞いたことがなくて仕事内容など初めて知りました。役所に提出する書類や法律関係の書類の作成代行者という、とても大切で重要な役割を持つ仕事なので、お客様と信頼関係を築くことがとても大切だということがわかりました。コミュニケーションをとることが基本となっている仕事なので、「挨拶」、「目を合わす」、「笑顔」など、基本的なテクニックを使い、相手のお話しをしっかり聴いて、話題の提供をしていることがわかりました。コミュニケーションをとるということは、ただ明るいのではないことに気付きました」

「高校生のうちにたくさん挑戦して大学生、社会人としてうまくやっていける人になりたいな、「ワンチャン」「ダメ元」で取り組んでいこー！と思いました」

生徒たちに、ロータリアンからの思いが伝わっていました。自分のキャリアについて考える機会・ヒントとなるとともに、高校生としての日々の実践やビジネスへの理解につながっていました。